

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第23週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (23週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 1 例。3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 5 例。
4 類感染症：日本紅斑熱 1 例。5 類感染症：百日咳 13 例。

疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類 結核	都城	50 歳代	女	無症状病原体保有者	—
3類 腸管出血性大腸菌感染症	宮崎市	0~4歳	男	—	水様性下痢、O血清型不明(VT1産生)
		5~9歳	男	—	腹痛、水様性下痢、O26(VT1産生)
		20 歳代	女	無症状病原体保有者	O血清型不明(VT1産生)
		40 歳代	女	—	腹痛、水様性下痢、O145(VT1産生)
	日向	10 歳代	男	—	腹痛、水様性下痢、O157(VT1、VT2産生)
4類 日本紅斑熱	日南	70 歳代	女	—	発熱、頭痛、刺し口、発疹、肝機能異常

疾患名	報告保健所	報告数	年齢群				症状
			0~4歳	5~9歳	10歳代	40歳代	
5類 百日咳	宮崎市	1例				1	持続する咳、夜間の咳き込み、呼吸苦、スタックート、チアノーゼ、白血球数増多
	日南	10例	3	4	3		
	高鍋	1例			1		
	日向	1例			1		

□ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は1,018人(定点当たり30.9)で、前週比93%と減少した。なお、前週に比べ増加した主な疾患は特になく、減少した主な疾患は咽頭結膜熱と感染性胃腸炎である。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

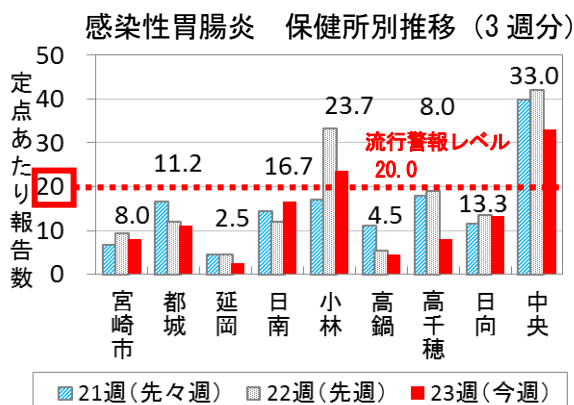
【感染性胃腸炎】

報告数は382人(10.9)で、前週比85%と減少したが、例年同時期の定点当たり平均値*(9.2)の約1.2倍である。中央(33.0)、小林(23.7)保健所からの報告が多く、年齢群別は1~4歳が全体の約半数を占めている。

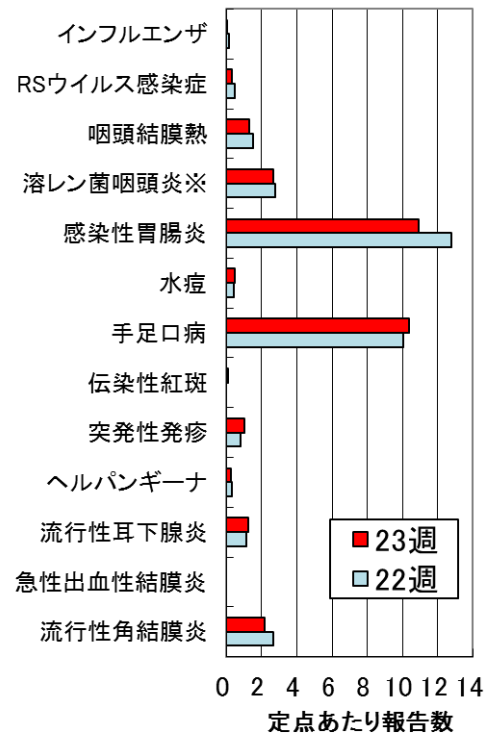
【手足口病】

報告数は363人(10.4)で、前週比103%とほぼ横ばいであり、例年同時期の定点当たり平均値*(2.6)の約3.9倍である。延岡(21.0)、日向(19.5)、日南(11.3)、高千穂(11.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は1~4歳が全体の約8割を占めている。

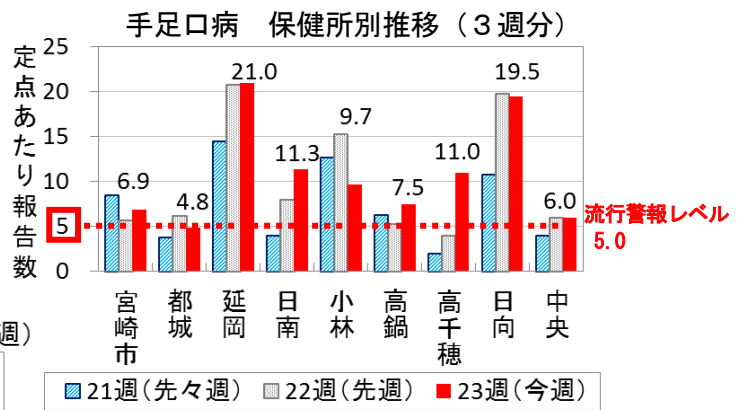
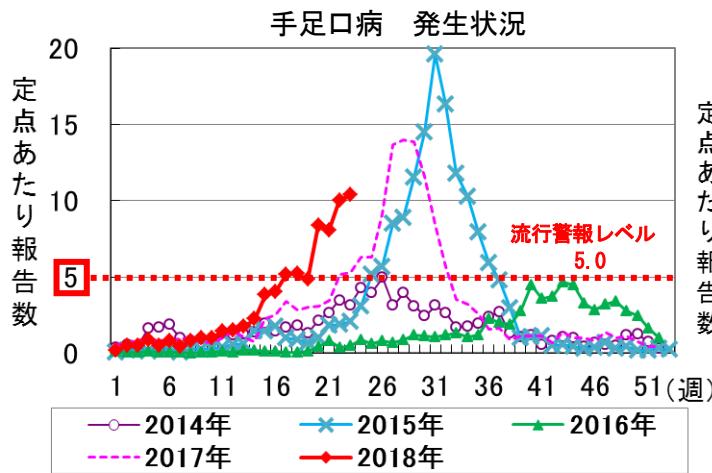
* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値



《前週との比較》



※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



★基幹定点からの報告★
報告なし。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	手足口病(6.9)
都城	なし
延岡	手足口病(21.0)
日南	手足口病(11.3)、流行性耳下腺炎(12.0)
小林	感染性胃腸炎(23.7)、手足口病(9.7)
高鍋	咽頭結膜熱(3.0)、手足口病(7.5)
高千穂	手足口病(11.0)
日向	手足口病(19.5)
中央	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(13.0)、 感染性胃腸炎(33.0)、手足口病(6.0)

* 流行警報レベル開始基準値*

- ・咽頭結膜熱(3.0)
- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8.0)
- ・感染性胃腸炎(20.0)
- ・手足口病(5.0)
- ・流行性耳下腺炎(6.0)

全国 2018 年第 22 週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (全国第 22 週)

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	333 例				
3類感染症	細菌性赤痢	3 例	腸管出血性大腸菌感染症	87 例	パラチフス	1 例
4類感染症	E型肝炎	7 例	A型肝炎	17 例	重症熱性血小板減少症候群	3 例
	ダニ媒介脳炎	1 例	チクングニア熱	1 例	つつが虫病	5 例
	デング熱	2 例	日本紅斑熱	2 例	マラリア	1 例
	レジオネラ症	33 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	9 例	ウイルス性肝炎	1 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	29 例
	急性脳炎	5 例	クリプトスポリジウム症	1 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	5 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	6 例	後天性免疫不全症候群	22 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	11 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	33 例	水痘 (入院例)	9 例	梅毒	86 例
	播種性クリプトコックス症	2 例	破傷風	1 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例
	百日咳	132 例	風しん	2 例	麻しん	3 例

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 103%とほぼ横ばいであった。なお、前週と比較して増加した主な疾患は水痘と手足口病で、減少した主な疾患はインフルエンザである。

R S ウイルス感染症の報告数は 911 人(0.29)で前週比 97%とほぼ横ばいで、例年同時期の定点当たり平均値*(0.13)の約 2.2 倍である。沖縄県(3.5)、新潟県(1.4)、北海道(0.86)からの報告が多く、年齢群別では 2 歳以下が全体の約 9 割を占めている。

流行性角結膜炎の報告数は 765 人(1.1)で前週比 116%と増加し、例年同時期の定点当たり平均値*(0.68)の約 1.6 倍である。新潟県(3.9)、神奈川県、熊本県(各 3.2)からの報告が多く、年齢群別では 10 歳以下が全体の約 3 割を占めている。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週 (計 15 週) の平均値

📊 月報告対象疾患の発生動向 <2018年5月>

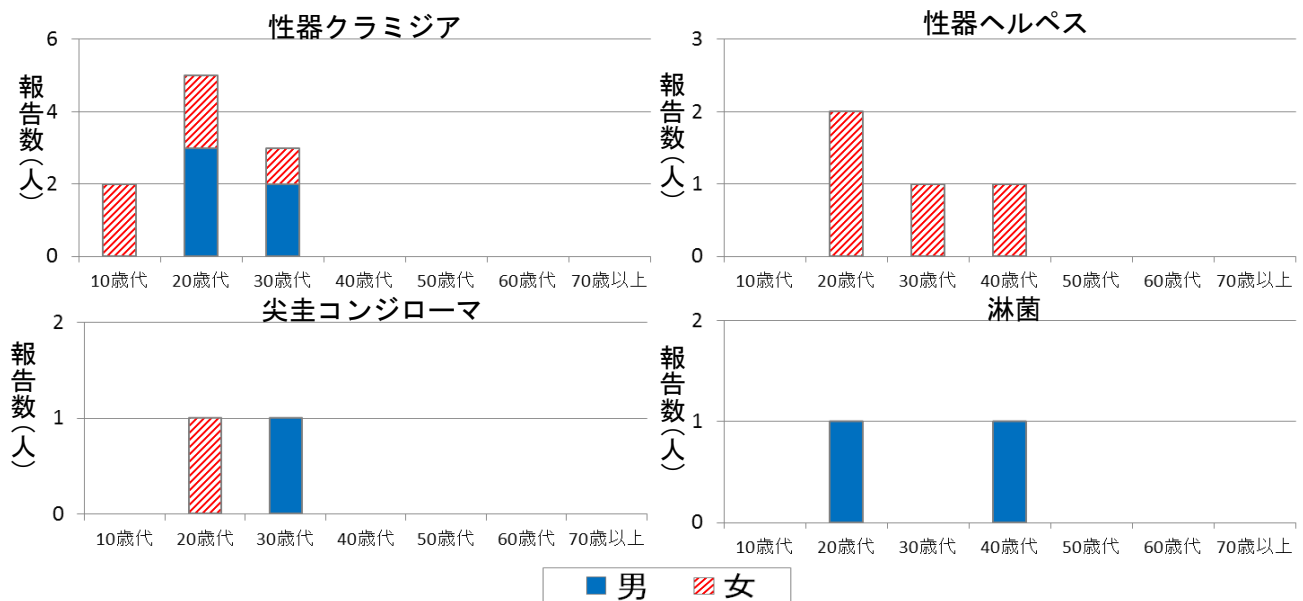
□ 性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は18人(1.4)で、前月比47%と減少した。また、昨年5月(2.5)の55%である。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数10人(0.77)で、前月の約0.4倍、昨年5月の0.5倍である。
20歳代が全体の半数を占めている。(男性5人・女性5人)
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数4人(0.31)で、前月の0.4倍、昨年5月の約1.3倍である。
(女性4人)
- 尖圭コンジローマ：報告数2人(0.15)で、前月の2.0倍、昨年5月と同率である。
(男性1人・女性1人)
- 淋菌感染症：報告数2人(0.15)で、前月の約0.7倍、昨年5月の約0.3倍である。(男性2人)



【全国】 定点医療機関総数：981

定点医療機関からの報告総数は4,213人(4.3)で、前月比114%と増加した。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,197人(2.2)で前月比119%、性器ヘルペスウイルス感染症797人(0.81)で前月比103%、尖圭コンジローマ510人(0.52)で前月比111%、淋菌感染症709人(0.72)で前月比118%である。

□ 薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は17人(2.4)で、前月比94%と減少した。また、昨年5月(3.0)の81%である。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数17人(2.4)で、前月の約1.2倍、昨年5月の約0.9倍である。70歳以上が全体の約半数を占めている。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

【全国】 定点医療機関総数：478

定点医療機関からの報告総数は1,540人(3.2)で、前月比106%と増加した。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,360人(2.9)で前月比108%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症171人(0.36)で前月比97%、薬剤耐性緑膿菌感染症9人(0.02)で前月と同率である。

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2018年 第23週(06月04日～06月10日)

疾病名		第22週	第23週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	9	2		2							
	定点あたり	0.16	0.03	0.00	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	16	11	3	1	2					3	2
	定点あたり	0.46	0.31	0.33	0.17	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.75	2.00
咽頭結膜熱	報告数	54	45	13	7	4	8		12		1	
	定点あたり	1.54	1.29	1.44	1.17	1.00	2.67	0.00	3.00	0.00	0.25	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	98	94	18	16	15	5	5	11	1	10	13
	定点あたり	2.80	2.69	2.00	2.67	3.75	1.67	1.67	2.75	1.00	2.50	13.00
感染性胃腸炎	報告数	447	382	72	67	10	50	71	18	8	53	33
	定点あたり	12.77	10.91	8.00	11.17	2.50	16.67	23.67	4.50	8.00	13.25	33.00
水痘	報告数	15	17	4	2	2		4	1		4	
	定点あたり	0.43	0.49	0.44	0.33	0.50	0.00	1.33	0.25	0.00	1.00	0.00
手足口病	報告数	351	363	62	29	84	34	29	30	11	78	6
	定点あたり	10.03	10.37	6.89	4.83	21.00	11.33	9.67	7.50	11.00	19.50	6.00
伝染性紅斑	報告数		4	1	2							1
	定点あたり	0.00	0.11	0.11	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
突発性発しん	報告数	29	35	10	3	5	2	6	3		6	
	定点あたり	0.83	1.00	1.11	0.50	1.25	0.67	2.00	0.75	0.00	1.50	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	12	9			4	3		1		1	
	定点あたり	0.34	0.26	0.00	0.00	1.00	1.00	0.00	0.25	0.00	0.25	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	40	43	1	3	1	36				1	1
	定点あたり	1.14	1.23	0.11	0.50	0.25	12.00	0.00	0.00	0.00	0.25	1.00
急性出血性結膜 炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	16	13	13								
	定点あたり	2.67	2.17	4.33	0.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:58、小児科定点:35(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点あたり報告数

全数把握対象疾患累積報告数(2018年第1週～23週)

2類感染症	結核	75例(1)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	7例(5)				
4類感染症	E型肝炎	3例	A型肝炎	21例	重症熱性血小板減少症候群	7例
	つつが虫病	1例	日本紅斑熱	3例(1)	レジオネラ症	4例
5類感染症	アメーバ赤痢	1例	ウイルス性肝炎	2例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	7例
	急性脳炎	5例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例
	後天性免疫不全症候群	4例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3例	侵襲性肺炎球菌感染症	19例
	水痘(入院例)	1例	梅毒	1例	播種性クリプトコックス症	2例
	破傷風	2例	百日咳	146例(13)	風しん	1例

()内は今週届出分、再掲